

1回生 必修教科「国語」授業のシラバス

教科名	国語	科目名	単位数	175 時間
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。			
教科書	国語1(光村図書) 中学書写(教育出版)	副教材	たびたび漢字練習帳1(正進社) WinPass 中学国語1(文理) 国語の積み上げ1年生【単元テスト】(明治図書) 国語便覧【北海道版】(浜島書店)	

1 学習の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習の方法

- (1) 「基本的な確認事項」(詳しくは、授業時に確認します)
 - 基本的な持ち物は、3点(教科書・ノート・ワークシートファイル)です。その他のものが必要な場合には別途連絡します。
 - 辞書(国語辞典や漢和辞典)に関しては電子辞書でもかまいませんが、できるかぎり準備してください。
 - WinPass(ワーク)は、主に長期休業課題や日常の家庭学習用、自習課題用として使用します。
 - (2) 「MS(モーニングスタディ)＝朝学習」について
 - 国語便覧の該当ページから出題します。別紙の範囲表を参考に学習しましょう。
 - MSで出題する内容は、主に「覚える内容」です。該当の範囲を覚えるまで、くり返し学習を積み重ねることが必要不可欠です。
- ※不合格の場合は、その週ごとに追試や補習課題を行うこととなります。1度で合格できるように頑張りましょう。

〈学習アドバイス〉

- 「考える学習(例:【心情理解】【内容理解】【構成】【作文】など)」と「覚える学習(例:【漢字】【表現技法】【文法事項】【慣用句】【仮名遣い】など)」を使い分けましょう。覚える内容を覚えなければ、活用することもできません。
- 「予習」は、「新出漢字や新出語句の意味や用法を辞書で調べること」や「教科書の該当ページに目を通しておくこと」などがあげられます。「復習」は、「その日の授業で理解できなかったところ」や「やり残したところ」の見直しが主になります。学んだことや考えたことを定着させるために必ずその日のうちに行いましょう。基礎期(1、2回生)のうちは、特に「復習」を中心に行うとよいでしょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
②思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する)

観点	評価材料												
	定期 考査	単元 テ スト	各種 テ スト	実技 実 習	発 言 発 表	作 品	レ ポ ー ト	ノ ー ト	ワ ー ク シ ー ト	討 議	Win Pass	特 別 課 題	日 常 取 組
①知識・技能	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○
②思考・判断・表現	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○
③主体的に学習に取り組む態度	△	△	△	○	○	○		○	○		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

国語の力を伸ばすには時間がかかります。語彙(ごい)力(言葉をよく知っている)・読解力(文章を正しく読み取る)・表現力(自分の考えなどを相手に伝えるように表現する)・知識力(文法や漢字など)を総合的に身につけることが必要となってくるからです。1回生のみなさんは、中学・高校と続く学びの土台を今まさに作り始めたところです。建物も土台がしっかりしていないとうまく建ちません。これから学習していくことを確実に身につけることによって、今だけではなく、後期生になってからの学習もスムーズに進みます。まだまだ先のことと現実味がなくてもいいかもしれませんが、地道な積み重ねは、数年後の力にもつながると信じてがんばりましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
課題に関 心を持ち、 問題発見・ 解決へ向 けて意欲 的に取り 組むこと ができる。	生じてい る問題や 今後生じ うる問題 について 理解し、解 決方法を 提案する ことができ る。	多様な視 点から必 要な情報 を収集し、 整理・分析 して、意見 に結びつ けること ができる。	事象や関 係を把握 し、多様な 情報を整 理・分析 し、論理的 に思考す ることが できる。	相手の感 情、思考、 行動を理 解し、共感 を示すこ とができ る。	他者の主 張を理解 し、自分の 主張と調 整し、互い に納得で きる結論 を得ること ができる。	強い意志 をもち、周 囲に流さ れること なく、困難 に立ち向 かうこと ができる。	異なる価 値観や多 様な特質 を理解し、 尊重しな がら、互い を高め合 うことが できる。	有形無形 の美や自 然に対し、 その価値 を素直に 受け止め ることが できる。	命の尊さ と健康の 大切さを 理解し、何 より自他 の生命を 尊重する ことができ る。	困難に負 けない強 い心と体 をもち、あ らゆる課 題に対し て柔軟な 対応がで きる。	郷土に対 する深い 理解と愛 着をもち、 日本のよ さを伝え ることが できる。	世界の多 様性を理 解し、多 面的・多 角的な視 野から他 者と接す ることが できる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容(★のみ記載)	評価の観点(★のみ記載)	考査等	資質・能力
	朝のリレー(1)★ ※オリエンテーションの内容を含む	1 詩を通読する。 2 詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 3 詩の特徴を生かして音読する。	①速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。③音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。		AB
	言葉に出会うために 「野原はうたう」(1)★ 「声を届ける/書き留める/調べる 続けてみよう」(4)	1 国語で何を学ぶのかを考える。 2 「野原はうたう」の二つの詩を通読する。 3 速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫して音読する。	①速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫している。/情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。③音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。		AB
	1. 学びをひらく 「シンジュン」(4)★ 「情報を的確に聞き取る」(1) (季節のしおり 春) 「情報整理のレッスン 比較・分類」(1) 「情報を整理して書こう」(4) 「漢字1 漢字の組み立てと部首」 「漢字に親しもう1」(1)	1 作品を通読する。 2 作品の全体像を捉える。 3 場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理する。 4 読み深めた感想を交流する。	①登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。②場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。③場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。		ADEFH
	書写1 姿勢と用具の使い方 (2)	硬筆「ふしぎ」 姿勢と用具の使い方 1 用具(文房四宝)と姿勢を確認する。 2 毛筆の持ち方と硬筆の持ち方を確認する。 3 後片付けの仕方を確認する。	①姿勢や用具の持ち方に気をつけて丁寧に字を書こうとしている。③用具の扱い方や正しい姿勢・筆記具の持ち方を理解している		AIL
	2. 新しい視点へ 「ダイコンは大きな根？」(3)★ 「ちょっと立ち止まって」(4)★ 「思考のレッスン1 意見と根拠」(1) 「話の構成を工夫しよう・好きなことをスピーチで紹介する」(4) 「漢字に親しもう2」(1) 「文法への扉1・言葉のまとまりを考えよう」(2) 「情報を集めよう」「情報を読み取ろう」 「情報を引用しよう」(3)	1 本文を通読する。 2 文章の中心的な部分を捉える。 3 段落の役割について考える。 4 考えたことを発表し合う。 1 本文を通読する。 2 文章の構成に着目し、要旨を捉える。 3 文章の構成に着目し、その効果を考える。 4 考えたことを伝え合う。	①本文中で比較がどのように使われているかを理解している。②「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。③文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 ①筆者の主張と事例との関係を理解している。②序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 ③進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。		ABCDE ABCD
	書写1 楷書で書こう (5)	筆使い 基本点画「天地」 筆使いと字形「活気」 学習を生かして書く 一字形・筆順 1 筆圧や筆脈に注意しながら、小学校で学習した基本的な点画の筆使いを確認する。 2 硬筆で字形の整え方を確認する。 3 楷書の点画の筆使いを理解して書く。 4 字形の整え方と筆順の決まりを理解して書く。	①楷書の点画の筆使いを意欲的に確かめようとしている。②楷書の基本的な点画の筆使いと筆順を理解している。③楷書の筆使いと筆順に気をつけて「天地」「活気」などを書いている。		AIL
	3. 言葉に立ち止まる 「詩の世界」(2)★ 【書く】詩を作ろう(1) 「比喻で広がる言葉の世界」(2) 「言葉を集めよう」(1) 「言葉1・指示する語句と接続する語句」(2) 「言葉を集めよう・もっと『伝わる』表現を目標として」(2)	1 作品を音読する。 2 詩を読んで、感じたことを交流する。 3 描かれた情景や表現の効果について話し合う。 4 詩のよさを発表する。 5 三編の詩の表現を参考にして、詩を作る。	①詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。/表現の技法を理解し、表現を工夫して詩を書いている。②詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。③文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。		ACDEFHI
	読書生活を豊かに 「読書を楽しむ」(1) 「本の中の中学生」(1) あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い (季節のしおり 夏)				

<p>書写1 楷書と仮名を調和させて書こう (6)</p> <p>4. 心の動き 「大人になれなかった弟たちに……」 (4) ★ 「星の花が降るころに」(5) ★ 「聞き上手になろう・質問で話を引き出す」(1) 「項目を立てて書こう・案内文を書く」 (2) 「[推敲] 読み手の立場に立つ」(1) 「言葉2・方言と共通語」(2) 「漢字2・漢字の音訓」(1)</p> <p>5. 筋道を立てて 「言葉」をもつ鳥、シジウカラ(4) ★ 「思考のレッスン2・原因と結果」(1) 「根拠を示して説明しよう・資料を引用してレポートを書く」(5) 「漢字に親しもう3」(1) 「話し合い話し合いの展開を捉える」 (1) 「話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする」(4) 「音読を楽しもう 大阿蘇」(1) (季節のしおり 秋)</p> <p>書写2 行書で書こう (7)</p> <p>6. いにしへの心にふれる 「音読を楽しもう いろは歌」古典の世界」(1) 「蓬萊の玉の枝―竹取物語から」(4) ★ 「今に生きる言葉【書く】 故事成語を使って体験文を書こう」(2)</p> <p>7. 価値を見いだす 「『不便』の価値を見つめ直す」(4) ★ 「【書く】根拠を明確にして、意見をまとめよう」(4) 「助言を自分の文章に生かそう・作品の書評を書く」(2) 「漢字に親しもう4」 「文法への扉2・言葉の関係を考えよう」 (2)</p> <p>読書に親しむ 「考える人になろう」(1) 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう</p>	<p>筆脈「いろは歌」 楷書に調和する仮名「いろは歌」 1 「いろは歌」について理解する。 2 平仮名と片仮名の五十音表を硬筆でなぞり、字形の整え方を確認する。 3 「いろは歌」を毛筆で書く。</p> <p>学習を生かして書く 一行の中心 学習を生かして書く 一配列 1 硬筆で行の中心をそろえて書く。 2 楷書と仮名の大きさを理解して書く。 3 原稿用紙、レポートの形式で書く。</p> <p>1 作品を通読する。 2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 3 題名のもつ意味について考える。 4 表記に込められた、作者の意図を考える。 5 思いを伝える朗読会をする。</p> <p>1 作品を通読する。 2 「私」を中心に作品の内容を押さえる。 3 場面や描写を結び付けて読む。 4 印象に残った場面や描写を語り合う。</p> <p>1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 論の展開に着目し、その効果を考える。 4 結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>行書学習のはじめに 点画の変化と筆脈の連続「大木」 点画の連続と変化「栄光」 点画の連続と省略「平和」 学習を生かして書く 一行書の特徴 1 楷書と行書を比べて違いを確認する。 2 行書の特徴を理解する。 3 点画の方向や形が変化するときの筆使いを理解して書く。 4 筆脈の連続を理解して書く。 5 点画の省略を理解して書く。</p> <p>1 作品を通読する。 2 古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 3 描かれている古典の世界を想像する。</p> <p>1 本文を通読し、内容を捉える。 2 筆者の考えを要約する。 3 根拠を明確にして、意見をまとめる。</p>	<p>①楷書に調和する仮名の筆使いや字形を意欲的に確かめようとしている。②楷書に調和する仮名の筆使いや字形を意識して「いろは歌」を書いている。③楷書に調和する仮名の筆使いや字形を理解している。</p> <p>①行の中心をそろえ、大きさや配列のポイントを意識的に確かめようとしている。②漢字の仮名の大きさや配列に気をつけて書いている。③さまざまな形式への文字の書き方や配列を理解している。</p> <p>①戦時中という時代背景や、その中で暮らす人々の生活苦を理解している。②描写に着目して、登場人物の行動や心情の変化を捉えている。③登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。</p> <p>①様子や動きを何かにたとえた表現を探し、どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。②場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。③進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。</p> <p>①筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて、理解している。②筆者の意見と、それを支える根拠との関係を考えている。③文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。</p> <p>①楷書と行書の違いを意識的に確かめようとしている。②行書の特徴的な筆使い(丸み、点画の方向や形の変化、連続、省略など)を意識して書いている。③漢字の書体の移り変わりを理解している。点画の方向や形が変化するときの筆使いを理解している。</p> <p>①音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。②「蓬萊の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み、現代の自分たちと比べ、古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。③進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。</p> <p>①意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。／要約するための情報の整理のしかたを理解し、自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。②目的に沿って必要な情報を結び付け、要約している。／賛成か反対か、立場を明確にして、筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。／立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。③積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>	<p>AIL</p> <p>ABCDEF H</p> <p>ABCDEIJ M</p> <p>AIL</p> <p>ABCEIL</p> <p>ABCDEF G</p>
--	--	---	--

<p>書写2 目的や必要に応じて書こう (3)</p> <p>8. 自分を見つめる 「少年の日の思い出」(6)★ [書く] 別の人物の視点から文章を書き換えよう 「漢字に親しもう5」(1) 「文法への扉3・単語の性質を見つけよう」(2) 随筆二編(2) 「構成や描写を工夫して書こう・体験を基に随筆を書く」(4) 「言葉3・さまざまな表現技法」(2) 「漢字3 漢字の成り立ち」漢字に親しもう6」(1) 「一年間の学びを振り返ろう・要点をフリップにまとめ、発表する」(5) 「さくらの はなびら」(1) 「学習を振り返ろう」(3)</p> <p>書写2 1年間の学習のまとめ (12)</p>	<p>手紙を書く 年賀状を書く 学校生活に生かして書く 1 手紙の基本的な書き方を理解して硬筆で書く。 2 行の中心や文字の大きさを理解して小筆で年賀状を書く。 3 伝える相手や目的を明確にして、配列と筆記用具を工夫して書く。</p> <p>1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。 3 「僕」の心情の変化をまとめる。 4 別の人物の視点から文章を書き換える。</p> <p>楷書と仮名の調和「広がる世界」 行書「理想」 補充教材「出発」 補充教材「名作」 補充教材「永遠」 補充教材「伝統文化」 1 点画の連続を理解して書く。 2 点画の省略を理解して書く。 3 筆順の変化を理解して書く。 4 いろいろな省略の方法があることを理解し応用させる。</p>	<p>①手紙の書き方を理解し、意欲的に取り組んでいる。②文字の大きさや配列に注意し、さまざまな筆記具の特徴を生かして書いている。③手紙の基本的な書き方を理解している。伝える相手や目的に応じた筆記具の選択について理解している。</p> <p>①場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。②時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり、具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。／登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。／別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。③文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。</p> <p>①筆順が変化するときの筆使い、点画を省略するときの筆使いについて関心をもって知ろうとしている。②行書の特徴的な筆使い(点画の連続や省略など)を意識して書いている。③点画の省略や筆順の変化が見られる部分を見つけている。</p>	<p>AIL</p> <p>ABEFIM</p> <p>AIL</p>
--	--	--	-------------------------------------